



五中だより

令和6年9月2日
小平市立小平第五中学校
校長 伊藤 克行
小平市小川町1-798

大切に思う気持ち

校長 伊藤 克行

予想通り今年も、本当に暑い夏となりました。皆さんはどんな夏休みを過ごしましたか。今回は夏休みにあった出来事について書こうと思います。

夏休みも後半のある日、校長室に地域教育コーディネーターの張 明子さんが訪ねていらっしゃいました。地域教育コーディネーターの張さんは学校が協力を必要とする場面で地域からボランティアを募り、様々な場面で普段から私たちの学校を支援してくださっている方です。例を挙げると、水曜日の放課後学習教室の運営、図書ボランティア、漢検・英検などの監督ボランティア、それから学校花壇の整備などをしてくださっています。

実は夏休みの学校花壇の管理はとても大変です。近年の猛暑もあり1日2回、花に水をあげないと枯れてしまうのです。しかも午前10時を過ぎたころになると美術室前水道水の水温は40度くらいになってしまい、そのまま水をあげてしまうと花が枯れてしまうのです。そのようなわけで花ボランティアの方たちは手分けをして朝夕の2回、学校の美しい花壇を守るため夏休み中も水やりや雑草取り、剪定などに来てくださっていました。これは何とかしたいと私は思い、昨年度から生徒会にお願いをして夏休みの部活動で水やりを分担してもらうことにしました。去年はなかなか徹底できず、実は何度も張さんをはじめとする花ボランティアの方々がお水をあげに来てくださっていたのです。今年こそ生徒の力でやれないかと思っていたのは私だけではなく、部活動の部長会が中心となって、かなり丁寧にお水をあげてくれていました。結果的に、学校花壇は猛暑に負けずとても良い状態で夏休みを越すことができたのです。

話は戻りますが、張さんが校長室にいらっしゃったのはまさにこの学校花壇のことだったのです。校長室に入ってくるなり、嬉しそうに学校での水やりについて「ありがとうございます。」と何度もおっしゃいました。でも、みなさん、このお話ってすこし変だと思いませんか。花ボランティアをしてくださっている張さんが学校の責任者である校長に「猛暑にもかかわらず、こんなにきちんとお水をあげてくれて、こんなに美しいまま花たちを守ってくれて本当にありがとうございます。」と言っているのです。私は張さんに「『ありがとうございます。』は私の方です。」といいましたが、張さんはそれでも「ありがとうございます。」をやめませんでした。

卒業した学校をよく「母校」といいます。これは卒業した学校を大切に思うからこそ生まれた言葉なのだと私は思います。何かを「大切に思う気持ち」は人から言われてもてるものではありません。自分自身が何かを感じているから、自然に生まれてくる気持ちなのだと思います。私は張さんがこの小平第五中学校を自分の家のように大切に思っていることを、今回の花壇の話でより強く実感しました。五中を大切に思うからこそ花壇を整えたい、よりきれいにしておきたい、だからこそ自然に「ありがとう」の言葉が出てきたのだと思います。

さて、これから2学期が始まります。たくさんの行事が待っています。そしてきっとたくさんのドラマが皆さんの周りで生まれることと思います。そんな学校生活を通して、五中生の皆さんの心にこの小平第五中学校を大切に思う気持ちが自然に生まれたら嬉しいです。



防災の日・防災週間

9月1日は「防災の日」です。国民が防災や災害についての知識を高めることを目的に、1960年に制定されました。この「防災の日」を含む1週間を防災週間といい、防災に関するさまざまな催しが国や全国の地方団体によって行われています。

9月1日が「防災の日」となっているのは、関東大震災が大正12年（1923年）9月1日に発生したこと、そして9月1日頃が古くから台風が多いと言い伝えられている「二百十日」にあたることに由来しています。

年に1度のこの機会に、災害時の被害を最小限にとどめるために日頃からできることについて、家族でも確認しておきましょう。

東京都防災アプリ

「東京都防災アプリ」は、いつも・いざというときにも役に立つ、東京都公式の防災アプリです。

「あそぶ」「まなぶ」「つかう」をコンセプトに、防災ブック「東京くらし防災」「東京防災」をはじめ、災害への備えや災害時に役立つ多くのコンテンツを利用できます。この機会にダウンロードしてご活用ください。

▼Androidの方はこちら



▼iOSの方はこちら



（学校 HP にも案内を載せています。）

緊急初動要員訓練

本校は「いっとき避難場所」及び「避難所」となっています。

災害時には、緊急初動要員（市職員）が本校に参集し、緊急対応や応急活動を行います。7月には緊急初動要員訓練を行い、地域の方や本校教職員が参加して避難所開設や運営について確認しました。本年度は本校の正門を入ったところで「マンホールトイレ」の設置について確認しました。



災害への備えは「自助」「共助」「公助」の三つに分けられます。上記の取組は「公助」にあたります。中学生は、自らの命を自ら守る「自助」に加え、周りの生徒などを助ける「共助」についても意識し行動する段階です。学校では公助とともに、自助、共助についても引き続き指導していきます。

2学期開始にあたる相談先のご紹介

2学期が始まりました。登校について課題を抱えていたり不安や悩みがあったりする場合は、いつでも学校で相談ができますが、学校外にも相談先があります。新たな相談先2か所をご紹介します。

【小平市教育相談室 土曜電話相談】

新学期開始に伴う不安、いじめや不登校に関することを電話で相談できます。

（午前9時から午後4時30分まで） 042（343）9411

【こどもの人権 SOS チャット】

法務省の人権擁護機関が9月2日から運用開始する、チャット形式による人権相談です。（平日 午前8時30分から午後5時15分まで）

